

核兵器禁止条約発効(1月22日)を力に 核兵器のない世界を!

# 被爆76年 被爆者と二世が語る 被爆の証言と原爆展

(コロナの感染拡大防止をはかる北海道のイベント・ガイドライン等を踏まえて実施します。)

76年前の8月6日広島で、8月9日長崎で、私たちは人類史上はじめて核兵器の惨禍を被り、その日のうちに約11万人、その年のうちに約21万人が亡くなりました。かろうじて生きながらえた人々も、放射能による様々な後障害に悩まされてきました。



ふたたび被爆者をつくらない、これがあの「地獄」を経験した私たち被爆者の願いです。1月22日核兵器禁止条約が発効しました。核兵器は使ってはもちろん、開発しても保有しても、脅しに使っても国際法違反の「悪の存在」なのです。

唯一の戦争被爆国日本はただちに条約を批准すべきです。それがヒバクシャ国際署名に託された私たち国民の願いです。再び核兵器が使われることのないように、そして核兵器のない世界が実現することを願って、私たちは被爆の体験を語り伝えます。

とき 7月15(木)16(金)9時~16時 ところ 北海道庁1Fロビー 入場無料  
札幌市中央区北3条西6丁目 後援:北海道

被爆者・二世の証言(それぞれ20~30分を予定) 11時~、13時~、14時半~

- 15日 大谷 博さん(二世) 母の広島での被爆体験を伝えること、それは私の使命だと考えている。  
宮本須美子さん 死臭漂う長崎の街中を逃避行。原爆はいまも私たちを苦しめる。  
大村一夫さん きのご雲の下で何が起きていたのか、少年の目に刻まれた鮮烈な光景。
- 16日 金子廣子さん 原爆に翻弄された家族と自分の人生を「福島」を契機に語り始める。  
廣田凱則さん 長崎市鳴滝町で被爆。その時街中では……。核兵器は絶対許せない。  
川去裕子さん(二世) 父は私たちにほとんど原爆のことを語らなかったが……。

原爆パネルの展示 ※被爆者が描いた「原爆の絵」、いわさきちひろ「戦火の中のこどもたち」も展示。  
被爆の惨状を物語る数々の遺品・資料、図書の展示、DVD(越智晴子さんの証言他)の上映

主催:北海道被爆者協会 札幌市白石区平和通17丁目北6-7 TEL/FAX011-866-9545  
共催:被爆二世プラスの会北海道 北海道ノーモア・被爆者会館内